

ぜひとも協会活動にご参加下さい

会員企業の皆様には日頃より、当協会の運営にご協力を賜り誠にありがとうございます。

厚く御礼申し上げます。

さて、昨年に引き続き、オミクロン株の感染急拡大に伴う活動制限のある年明けとなりました。この状況下、協会としましては、引き続き、会員企業の皆様とともに新しい年にあらたな希望をもって、協会事業に取り組んで参ります。

今年度予定しております各種事業は、以下のとおりであり、必ず会員企業の皆様のお役に立てるものと考えております。

一社でも、一人でも多くの皆様に協会活動に奮ってご参加いただき、最新かつ有益な情報をご活用いただきたいと存じます。

- ・経営者層の情報の交換の場を提供します。
- ・アプリコンテストや先端技術研究会を通じて、会員企業のエンジニアの技術力向上を支援します。
- ・会員企業の福利厚生、労務に関する共通のテーマを研究します。
- ・横浜市、川崎市を始めとする県内市町村の外部関係団体との協力、プロジェクトの研究などを推進します。
- ・会員企業の求人活動の支援をします。神奈川IT就職フェア（合同企業説明会）の開催をします。また、インターンシップなど、会員企業と大学との連携を支援します。
- ・ベスト・ワーキング・ウーマン表彰を行い、女性のさらなる

活躍を推進します。

- ・事業研究会を通じての技術研究と協業に取り組みます。
- ・社員教育研修（人材育成、教育研修の企画・推進、SEハンドブックの発行等）の支援を行います。
- ・各種スポーツ大会等の開催により、ご家族、ご友人、他社社員等との交流親睦の場を提供します。



以上、神情協は様々な活動を通じて、会員の皆様と力を合わせIT業界を牽引してまいります。会員企業の皆様におかれましては、協会活動を深く理解していただき、皆様の社業発展に役立てていただくとともに地域社会への貢献を果たしていきたいと存じます。

本年も皆様のご理解とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

神奈川県情報サービス産業協会 会長 坂井 満

再起の年に。飛躍の年に。



昨年は、年初の緊急事態宣言の発出に始まり、新型コロナウイルスとの闘いの連続でした。この間、県民、事業者の皆様には、外出自粛や営業時間短縮などの要請を繰り返すことになりましたが、皆様のご協力とワクチン接種が進んだことで、秋以降は感染者が減少しました。皆様のご協力

に深く感謝申し上げます。

しかし、年明け以降、圧倒的な感染力を持つオミクロン株によって、新規感染者は激増し、1月21日からまん延防止等重点措置が適用され、県民や事業者の皆様には、再び負担をお掛けすることになり、大変心苦しい限りです。

この危機を早期に収束できるよう、「一人ひとりが徹底用心」の上、ご協力をお願いいたします。

さて、長いコロナ禍においては様々な制約がありましたが、そうした制約があったからこそ、一気に進んだこともありました。テレワークやリモート会議は、新たな働き方として定着しました。行政の分野でも押印が廃止され、オンライン申請やキャッシュレス決済が急速に進んでいます。これらはいずれも

デジタルの力によるものです。

また、県が支援するベンチャー企業が大企業とのオープンイノベーションに取り組む中でも、デジタルの力の活用が多く見られました。例えば、サッカースタジアム内の飲食店で発生する行列を解消するため、モバイルオーダー機能を活用して事前に注文・決済を済ませることで、待ち時間なく食事を受け取れるサービスが実用化されました。

こうした流れを加速させ、デジタルの力を様々な分野で活用していくためには、情報通信技術の発展や、普及拡大に向けた新たなサービスの開発が不可欠であり、神奈川県情報サービス産業協会の皆様のご活躍に大いに期待しているところです。

コロナと共存する中で、デジタルの力も駆使しながら、コロナ前よりも素晴らしい「新たな日常」を、県民の皆様とともに切り拓いていく。今年は、そうした明るい1年にしたいと思います。改めて、皆様のお力添えを賜りますようお願いいたします。

新しい年が皆様にとってより良い年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のあいさついたします。

神奈川県知事 黒岩祐治

※この挨拶は、2月4日に提出のあった原稿を掲載しています。

第62回神情協ビジネス・フォーラム

開催日：2021年10月21日(木)
企業経営委員会

延長に延長を重ねた緊急事態宣言も9月末をもって解除され、さわやかな秋晴れの中、第62回ビジネス・フォーラムがホテルプラムで開催された。

「沢山かつ新しい“仲間”をみつけるために垣根を越えた交流を行う」という本フォーラムのスローガン通り、Zoomによるオンライン参加も合わせて合計79名の参加者の大きな拍手で始まった。

第1部の商談会は神情協坂井会長の挨拶の後、株式会社アイネット、神奈川県福祉共済共同組合、あさかわシステムズ株式会社、結婚相談所Enishell、株式会社ジェイエスピー、第一生命株式会社、鈴与シンワート株式会社、株式会社プレミアムサポート、株式会社ネットフォレストと、普段より多い全9社が自社の商材・取り組みをアピール。熱のこもった発表に参加者は耳を傾けていた。

続いて第2部の懇親会は、宣言解除後とはいえ、気を緩め



る事なく感染予防対策を施した形式で実施。料理長渾身のコース料理に舌鼓を打ちながら、新会員・ゲストの紹介が行われ、新しい仲間との出会いにつながり、価値のあるフォーラムとなった。これからも参加企業の発展に向けて交流を深めて参りたい。

株式会社エクス 崎濱悠作

第24回神奈川県私立大学就職研究会と神情協との情報交換会

開催日：2021年10月29日(金)
産学連携委員会

10月最後の週末、ホテルプラムで第24回神奈川県私立大学就職研究会と神情協との情報交換会が開催された。今年も感染症対策のためハイブリッド開催となった（参加大学：現地16校、オンライン9校、参加企業：現地29社、オンライン21社）。

神情協の坂井会長、県就研の原田会長による開会挨拶で始まった1部では、各大学からの報告が行われた。昨年に引き



続きコロナ禍の影響はあるものの、内定率のポイントを上げている学校が多く、さらに大学院への進学が増加したという声もあった。また情報系の希望者が増加したという声が多い中、企業側のハードルが上がっているのでは？という声も。就活サイトでは内定率9割というデータがある反面、今回の学校側の報告が7～8割程度とギャップがあり、今年もさらに二極化が進んでいる現状があるようだ。

2部の懇親会は着席スタイルで行われ、当日のサプライズで、現在も22年卒の採用を継続している企業に登壇でのアピールタイムが設けられた。これにより、その後の名刺交換タイムでは、通常の「企業から学校側への挨拶」だけでなく「学校側から企業へ」と相互のやり取りとなり、例年にない盛り上がりを見せた。学生もオンラインに慣れ、企業選びや働き方、価値観の変化が出てきたことを肌で感じている担当者にとって、こういった機会が貴重であることが窺えた。就職担当者の入れ替わりが多いこともあり、改めて活動の重要性を感じる機会となった。

株式会社アナザーウェア 福島由美子

第3回労働福利委員会セミナー

開催日：2021年12月3日(金)
労働福利委員会

『情報サービス業界の人事労務課題』～コロナ禍の長期化による新たな人事課題対応と人材流出防止施策～をテーマに、ともに労働福利委員会の委員でもある清水雄介氏と桐谷佳男氏によるZoomを利用した講演が行われた。2部構成で行われた本講演の特徴は、事前に100社を超える会員企業の回答のあったアンケート結果をもとに行うというものであった。

第1部は、コントレワークス代表であり人事コンサルタントでもある清水雄介氏が「アンケート結果の考察と新たな情報サービス業界の人事労務課題」をテーマに講演を行い、アンケート結果の報告・分析とともに人事労務課題に対応するための管理方法の紹介等が行われた。

続く第2部では、日本産業カウンセラー協会神奈川支部長である桐谷佳男氏が、「人材流出防止(リテンション)の現状と取り入れたい新たな施策」をテーマに講演を行い、人材流出の現状や課題についての説明、実際に講師がサポートした人材流出防止施策等についての紹介等も行われた。

いずれも重要なテーマであり、これらにおける問題点をあらためて認識するとともに、具体的な対策について考える機会ともなる大変有意義なセミナーであった。

小島勇祐法律事務所 小島勇祐

第16回横浜ITフォーラム2021は「2025年まであと4年。DXってどうなっているの？」という今まさに旬なテーマ。今年もコロナ禍における開催となり、会場、Webとハイブリッド形式で実施された。

今回の講演は2部構成、前半は日経BPクロステック編集委員であり、IT部門の問題点を斬る辛口論評の木村さんによる、「ニッポンのDXに極言暴論！」と題して現在の日本における「DXの実態と実情」を辛口トークで痛快に解説。

このままだとデジタル後進国から本物の後進国へ転落し競争力をどんどん失う事になる。早くことの重大性に気づき、行政と企業が一体化して加速させなければならない。我々ITサービス業界にとってもチャンスでもあるが、現行のビジネスモデルである労働集約型からコンサルティング能力やAIなど先端技術の対応力や更に技術力のあるエンジニア集団へ改革して行くトリガーになると強く感じたセッションな講演であった。

後半の第2部は、横浜役所



デジタル統括副本部長の福田様による、「自治体のDXの取組みと今後」と題して横浜市のDX計画や課題解決に向けた行政の将来像の講演。今後横浜市のDX化を促進する事により、最先端かつ脱炭素のデジタルインフラ整備、ハイブリッド型の地域コミュニティを創造、「行政サービス」「しごと・働き方」「人と組織」を改革する事を国の指針と連携し進めて行くとの大変貴重なお話を拝聴した。

我々サービスパートナーへの期待としては、DX化を加速するにあたり、サービスデザイン提案力やプラットフォームへの実装力等従来型の「作っては終わり」ではなく、一緒に良いものを作って行けるアイデアを出してくれるベンダーが重要と本講演においても従来型のビジネスモデル変革を考えさせられる内容となった。

なお、参加者は、フォーラム会場72名、ウェビナー166名合計238名（129社）であった。

鈴木シンワート株式会社 田高 正



横浜市交流委員会施設見学会

開催日：2021年12月10日(金)
横浜市交流委員会

2021年4月に誕生した神奈川大学みなとみらいキャンパスを見学させて頂いた。入り口を入ると受付があり、まるで企業のような光景が広がった。一般の方も利用できるカフェや旅行代理店も入っている。さらに度肝を抜かれたのは、なんとビールが飲める飲食店や寿司屋まであるのだ。今までの大学の概念を覆した光景が目の前に広がり、圧倒された。これは、みなとみらい21との包括連携協定を結んでおり、地域密着型キャンパスを目指すからであるとの説明を受けた。このキャンパスには、興味深い幾つの特徴がある。神奈川大学特許技術の「座屈拘束ブレース」を用いた制振構造、学生のアイデアで出来た空間（例えば畳敷きのスペースで日本の文化体験（茶道・華道）ができる空間）等である。教室ドア横の液晶に授業時間割が表示される、本の貸出をスマホで行えるようになっているなど、IT化も進んでいる。

また、SDGsのロゴ、多言語によるサイン表記、オールジェンダートイレ等があり、グローバル化、ダイバーシティにも力を入れているのが解る。企業との連携も行っており、日本航

空社員による実践的授業の実施や、資生堂S/PARK研究員との連携企画等を行っている。産官学連携にも力を入れており、「神大パートナーシップ」に参加する企業を募集している。約2時間の見学であったが、大学の進化に目を奪われ続けた素晴らしい見学となった。神情協はSE講座で神奈川大学に講座を開いている。これを機に更に連携を深めていけば、何か新しい価値を創り上げていけるのではないかと感じた。

株式会社アイティサーフ 内堀徹男



第2回オープンセミナー

開催日：2021年12月14日(火)
技術委員会

第2回オープンセミナーで、今年もCTF（Capture The Flag：コンピュータセキュリティに問題を解く事で技量や知識を競うイベント）体験セミナーが開催された。前回と同様に集合型ではなくZoomによるオンラインでの開催となり、チームごとにブレイクアウトルームに分かれ、全20チームで学びを深めながら勝敗を競うイベントとなった。今回の出題テーマは「隠す」。コロナ禍によりテレワークが進みクラウドやモバイル利用が当たり前となった昨今、改めてサイバーセキュリティの理解を深めて

もらう事を目標にサイバー攻撃をする側の目線で問題を作られていた。問題は攻撃を隠す事例として標的型メールやバックドアなど身近な事例を基にしており、



参加者のみならず参観者にも勉強となった。各チームの得点がいリアルタイムで表示されるWebアプリも用意され、抜きつ抜かれつの白熱した状況が雰囲気として伝わり大いに盛り上がりを見せた。例年よりも各チームの問題を解くスピードが早く、早々に柴山氏から敗北宣言を出させるチームもあり、更には全問正解が5チームも出るなど、参加者全体のレベルが上がっていると感じた。

競技終了後は、講師のアルファ・ウェーブ柴山さんから各問題の狙いと解説をいただき、表彰とトロフィー授与、各チームの感想を発表し閉会となった。

上位3チーム

- ・1位 エルテックス eltexExpert (7:18:21)
- ・2位 Team JISC ジスクソフト (7:27:56)
- ・3位 ジェイエスピー MTM (7:29:02)

※ () 内は全問正解到達時間

株式会社ジェイエスピー 芹田将基

2014年から始まり、今回で7回目を迎えた学生ITコンテスト2021の最終選考・発表会がホテルプラムで実施された。当日の会場参加者は、発表学生と学校関係者56名、神情協会企業からは審査員と神奈川県、横浜市、川崎市からの後援特別審査員を含む約40名。また、今回は会場人数制限を行った関係で、ウェビナーでの配信も行い、こちらも35名の参観があった。コロナの影響で2年ぶりに開催され、前回の2倍を超える49作品のエントリー。その中で一次、二次選考を通過した12チームが最終選考に選出され、最終プレゼンに挑んだ。

今年の発表では環境問題、福祉、健康などのSDGs関連のキーワードを取り上げている所が多く、数年前と比べて学生の着眼点の変化を感じた。発表については動画をプレゼン内で効果的に利用しているチームが多く、スライド資料だけではなく様々な手法で作品をアピールしており、審査員は楽しみながら発表を視聴した。オンラインでの配信も同時に行われ、最終選考に進むことができなかった学生や、対面で参加ができない方にも間口を広げて見て頂くことができた。



ビジネス企画部門からは「SASUTENAIBLE/中央大学」、ITプロダクツ部門からは「ARメッセージングサービス/情報科学専門学校」、最優秀賞はコンビニ食品の栄養素を簡単に知ることができる「CoreQue/情報科学専門学校」となった。コロナで対面での通学が減っている中、学生の熱意を予想以上に感じることができ、今後の学生の成長に期待が持てるものだった。

株式会社アイネット 浅野真帆



アプリケーションコンテスト2021発表・審査会

技術委員会主催による第7回アプリケーションコンテスト発表・審査会が行われた。今回こそ、会場での発表を計画していたが、新型コロナ・オミクロン株の感染拡大を受け、残念ながら今年もZoomのウェビナー形式によるオンラインでの発表・審査会となった。

コロナ禍の中でも昨年を上回る5社、5チームの参加を頂き、また聴講者も技術委員会メンバー以外の一般参加や先端技術研究会への参加者など、幅広い層に参加して頂いた。オンラインが当たり前の世の中になり、発表者・聴講者ともに慣れてきたのか、発表はスムーズであり、Zoomのチャット機能を使った質疑応答も非常に活発で、極めて盛況な発表・審査会となった。

限られた時間の中でのアプリ開発であったと思うが、各チームとも工夫を凝らし、技術を集め、すぐにでも使ってみたい、これなら商用化が可能、と思わせるものばかりで、とても質の高い発表会になった。

技術委員会メンバーによる一般審査、昨年に引き続きご後援を頂いた横浜市、川崎市を含めた6名の特別審査員による最終審査を経て、以下が表彰対象となった。それぞれの受賞コメントとともに紹介する。

最優秀賞 ピクトあわせゲーム デジタルコム株式会社 チームデジコム

(指定されたピクトグラムと同じポーズを60秒間に何回作れるかを競うゲーム)

このたびは、KIAアプリケーションテスト最優秀賞を授与していただき誠にありがとうございます。今回、賞をいただいたアプリは骨格推定ライブラリを使用した姿勢一致ゲームアプリです。通常業務を行いながらのアプリ製作は大変でしたが、完成させることができ大変うれしく思います。最後にサポートしてくださった皆様に心から感謝を申し上げます。



優秀賞 手のひらサイズのボタン式メジャー 株式会社ジェイエスピー JSPチームふくえ

(超音波の反射で距離を測定することにより、ものの長さを簡易に測るメジャー)

巣ごもり需要が追い風になり、コロナ禍の家具/インテリア市場規模が過去最高になっていることから、1人でも大き



メリー・クリスマス！——イルミネーションが輝く12月の夜。企業経営委員会主催の「神情協大クリスマスパーティー2021」がホテルプラム横浜で開催された。2年ぶりの開催となった本パーティーは新型コロナウイルス感染防止の観点から開催が危ぶまれたが、辻実行委員長の指揮のもと、指定席スタイル・マスク飲食・手指消毒・飛沫防止パネルの設置等、幾重にも感染症対策を施し開催に至った。

坂井会長の開会挨拶から始まり、守屋委員長の「メリー・クリスマス」の発声で乾杯。今回も大指理事が扮するDJサッシーがシーンに合わせたBGMで会場を包んだ。

パーティーを盛り上げたのは2つの企画。1つ目は「クリスマスクイズ」。各テーブルのメンバーが団結し謎解きに挑戦。最終クイズはまさかの結末で出題者のアイディアが光った。2つ目は「お楽しみ大抽選会」。ありがたくも会員企業を始



め、会場のホテルプラムさんも含めた計28社から協賛品を提供頂いた結果、なんと参加者全員に行き渡る数に！これを抽選で順にプレゼントし、参加者は豪華景品をホクホク顔で受け取った。

各企業の若手社員を中心に集まったパーティーは大盛況のうちに幕を閉じた。これだけ若手の元気があれば、このIT業界の未来は明るいと確信を得たイベントであった。

<抽選会インタビュー4名>

- ①株式会社ゼロワン 曽我尾 衿香（そが お えりか）さん
当選：5,000円ギフト（アイネット社提供）
コメント：コロナであまり人と会えない日々が続いていたが、楽しい一日になりました。
- ②株式会社セブン・ワイズ 鈴木 翔一朗（すずき しょういちろう）さん
当選：ドン・ペリニヨン（デジタルコム社提供）
コメント：若手社員で交流ができてよかった。とても楽しいです。
- ③株式会社ソフテム 大和田 実花（おおわだ みか）さん
当選：シャツ仕立て券（ネットフォレスト社提供）
コメント：他の会社の人と関わる機会が減ると視野が狭くなってしまう。こういう機会があつてよかったです。
- ④ピー・アイ・スクエア株式会社 岡田 拓将（おかだ たくと）さん
当選：10,000ギフト券（エフタイム社提供）
コメント：クリスマスクイズで一気に仲良くなれました。次回も参加したいです。

株式会社エクス 崎濱悠作

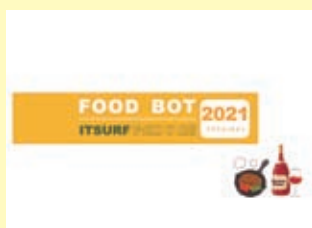
な家具を計測できるように、手のひらサイズのボタン式メジャーを開発しました。今回、コンテストに参加するのが初めてだったのでとてもよい経験ができたと思います。次回は、最優秀賞を狙います。



優秀賞 FOOD BOT 株式会社アイティサーフ

（自然言語での問いを分析し、グルメサーチのAPIからお勧めのレストランを表示）

アプリコンテスト優秀賞ありがとうございます。苦労した部分は形態素解析された情報から「飲み放題」や「夜間営業中」などをどのように判定するか迷い、本番当日ギリギリまでプログラミングを行いました。発表資料やフロントエ



ンドデザインなどさまざまな部分でチームメンバー同士の協力で完成までたどり着けました！

株式会社CIJ 横塚大典



最優秀賞 デジタルコム



絶好の見学日和の中、合計14人の参加者で、石坂産業株式会社の産廃処理工場と、工場を囲む森を見学した。産廃業は静脈産業として社会に不可欠な存在だが、自分の地域にはいらないと嫌われる。首都圏の産廃の最終処分場が東北・中国地方にあり、残容積が17年分という説明には皆ショックを受けていた。石坂産業の工場では、何段階もの「分級」でサイズを揃え、先進装置と人手で徹底して「分



別」しており、その工程には感銘を受けた。結果、処理工場から出る物の98%が「売り物」で、業界でも抜きん出た数字である。更に100%を目指しているようだ。

石坂産業では、過去のいわれのない非難をきっかけに、地域に必要とされる会社を目指しており、SDGsにも積極的に取り組んでいる。処理工場は完全に建物で覆われ、換気時の粉塵除去には購入電力の4割を当てている。工場内も「全て見せる」方針で安全な見学用通路が整備され、写真撮影もSNS投稿も自由だそうだ。工場周囲の美しい森は、産廃のリサイクル資材も活用して整備され、地域の人達が入場料を払って訪れていた。

森の落ち葉は肥料として製品化し、自社の農場でも使用している。農場で採れた野菜を使った昼食には皆大満足だった。森の管理に必要な費用の3分の2は、入場料や売店・食堂・製品の売上げなどで賄っているそうで、企業側が一方向的に奉仕する地域貢献とは一線を画している印象を持った。

三上特許事務所 三上 結

女性次世代リーダー研修会

開催日：2021年11月11日(木)
女性活躍ダイバーシティ委員会

株式会社WOMAN COLLEGE代表取締役の黒田佳奈子氏を講師に迎えた「女性次世代リーダー研修会」を受講した。

2回目以降は同社の大谷恭子さんが講師に加わり、女性のリーダーとしてご活躍されているお二人の貴重なお話を聞くことができた。

研修の内容は多岐にわたり、これからの社会では多様性に対する適応力がより強く求められることや女性活躍への期待が社会全体で高まっていること、また、女性ならではのライフワークバ



ランスについてなど、様々なお話を聞かせていただいた。

その中で、じっくりと自分について振り返る機会があり、今までの自己認識や自分の思考の癖などを顧みる良い機会になった。ま

た、オンラインでの研修に対しては若干不安を感じていたが、実際に参加してみると問題なくグループワークをすることができ、良い経験となった。同業他社の女性と交流する機会は大変貴重なもの

で、それぞれの立場や環境が違っていても共感できるエピソードもありながら、多様な考えに触れることのできる場となった。

研修の最後に、グループワークのメンバーにキャリアビジョンを発表した際、お互いに笑顔で励まし合ったことが強く印象に残っている。

コロナ禍という難しい状況の中で、研修会を開催してくださった運営の方に感謝したい。

株式会社クロステック 松本弘子



企業経営委員会『電子署名の基礎と必要性』セミナー

開催日：2022年2月1日(火)
企業経営委員会

『電子署名の基礎と必要性』セミナーが開催された。今回は、新型コロナウイルスの感染拡大を懸念し、完全オンライン(ZOOM)による開催となった。セミナー参加人数は、115名と、今年1月に施行された電子帳簿保存法改正の内容であった為、関心度が高いのが分かった。

主催の守屋委員長の挨拶後、講師田上利博氏によるセミナーが始まった。講演内容は、電子署名の基礎、電子印鑑、電子署名などの違い、電子契約(電子署名)の種類と方法、電子署名とタイムスタンプの法的効力と法令、電子帳簿保存法、電子証明書と電子認証局の役割、iTrustサービスについてであり、受講者は興味深く、真剣に聞き入っていた。このセミナーにより、電子署名の理解度が深まり、企業の対応方法についての道標が見えたのではないかと思います。

<セミナー講師情報>

田上 利博 氏 (サイバートラスト株式会社マーケティング本部プロダクトマーケティング部担当部長)

20年以上にわたりセキュリティベンダーで営業、プロダクトマーケティングに携わる。現在はサイバートラストで、認証・セキュリティ事業のプロダクトマーケティング全般を担当。デジタル改革関連法をはじめ、DX推進に影響のある法制度などの最新情報についても多数執筆している。フィッシング詐欺やドローン、IoTなどのセキュリティ課題にも取り組む。

株式会社アイティサーフ 内堀徹男



シリーズ会員企業紹介

■システムワークスジャパン株式会社

弊社は1988年鎌倉で創業し34期を迎えたシステムワークスジャパン（SWJ）と申します。

創業よりシステム開発を基軸として運営してまいりましたが、様々なお客様のニーズに応えるべく、社員一同スキルアップしてきた中に新たな社内事業の足掛かりを見つけ、現在は認証基盤構築（ID管理）の分野で微力ではありますが足場を固めることができました。そんな折、この新型コロナ禍が図らずもリモートワークを促進する形となり、まさにゼロトラストセキュリティの一環としてID管理の必要性が注目され、さらに多くの企業、学校、関連ベンダー、Sierからご相談

やご依頼を受けるに至りました。

オンプレミスID管理の国内No.1ソフトLDAPManagerの製造元からはエンジニアリングパートナーとして認定され、クラウド型ID管理世界No.1シェアのOktaとはその構築・販売代理店として、様々なお客様へのコンサルティングから導入までご提案させていただいております。これからはクラウド時代のリモートワークが気付かせてくれた、ソフトウェア業界と働き方改革との親和性を社員と享受するとともに、ソフトウェア業界で働く人々の為にも、かつてのダーティーイメージとは決別した新たなシステムエンジニア像を作りたいと思っています。神情協びに会員の皆様今後ともご指導ご鞭撻宜しくお願い申し上げます。

SYSTEM WORKS JAPAN



設立：1988年10月20日
資本金：1,200万円
売上高：3億4,200万円
社員数：37名
住 所：神奈川県鎌倉市雪ノ下1-9-21
トウセン鎌倉ビル4F
Tel：0467-24-4341
URL：https://swj.co.jp/

■株式会社アイテック

1983年（昭和58年）に、ITエンジニアの国家資格である“情報処理技術者試験”対策のリーディングカンパニーとして創業いたしました。日本のIT黎明期からIT人材の育成支援を開始し、39年以上にわたりIT人材育成の専門事業社として、おかげさまで延べ法人約8,000団体、90万人の受講生に教育サービスをご利用いただいております。

2018年にはネットワークエンジニアの育成と派遣事業を展開する株式会社クリエイティブソリューションズと合併し、人材の「量」と「質」の両面から、「人間力」による企業貢献を目指す新生アイテックとなりました。

デジタルトランスフォーメーション（DX）や

SDGsなど、常に進化と変革をしつづけるビジネスの世界。働いていく上で、求められる能力やスキルも常に変化しています。

アイテックでは、従来型IT人材育成をはじめ、AI・IoT・データサイエンスなどの最新デジタル技術や、要件定義やロジカルライティングなどの能力向上、デザイン思考やマネジメント、メンタルヘルス研修まで、全社員・全階層に幅広く教育ソリューションを提供しています。

全ての企業人が「生涯学び直し」を続け、それぞれのニーズに応じた力を身に付けられるよう、皆様のリスクリテラシーやアップスキリングを支援いたします。

iTEC
人間力を、企業力に

設立：2005年6月7日
資本金：8千万円
売上高：1,254,672千円
社員数：147名
住 所：東京都大田区平和島6-1-1
センタービル8階（教育事業本部 TRCスタジオ）
Tel：03-6877-6312
URL：https://www.itec.jp/

■株式会社ブリリアント

株式会社ブリリアントは1995年に設立以来、今年で27期目を迎えました。主な業務内容として

1. コンピュータシステムの調査・分析・設計業務
 2. コンピュータのソフトウェア開発業務
 3. コンピュータを利用した情報サービスの提供業務
 4. コンピュータのソフトウェア・ハードウェアに関する販売
- などを行っております。

創業から、ソフトウェア開発のベストクオリティを掲げ、その追求に努めております。

株式会社ブリリアントの存在意義として、世のため、人のためになるか？をコンセプトに、知識・技術を向上させながら、地域・社会に貢献する企業を目指しております。

実現のために、DX時代に貢献する新技術の習得と育成活動を行っております。

具体的には、IoT、AIに貢献するプログラマー、システムエンジニアの養成や、オンライン授業を通じての情報系学

生のスキル向上支援、地域イベント等にも参加し、地域のみならずとのコミュニケーションを大切にしていきたいと考えております。

お見積りやご相談などございましたら、お気軽にご連絡ください。



設立：1995年8月25日
資本金：8600万円
売上高：4億円
社員数：60名
住 所：山梨県笛吹八代町岡770-1
Tel：055-265-4724
URL：https://www.bril.co.jp/

SEハンドブック第10版頒布開始！

2022年2月
教育研修委員会

SEハンドブック第9版頒布開始から4年の月日を経て、多数のご愛用を賜り感謝します。この度、令和2年度からの2年をかけて継続した「SEハンドブック改訂」作業が終了し、新版を頒布できる運びとなった。改版に携わった会員企業の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

近年は新型コロナウイルスの感染拡大により、IT業界を取り巻く環境は大きく変化しました。今後も、企業のIT化が進み、国内外でIT需要が高まることが予想され、IT人材の育成が重要視されている。

第10版では初級SE向けの内容を第一部に集約し、より新卒者やSEを目指し始めた人が読みやすいように編集し、IT人材育成のツールとして使いやすいことを目指した。既存部分についても古くなった情報等をスリム化し、分かりにくいと思われた箇所について改稿・補充を行い、章内の構成についても見直した。今回も初心者から「高度なSE」を目指す熟練者の方まで十分活用できる一冊となっている。

また、今回は待望の電子書籍化にも挑戦し、検索機能等、より様々な場面で活用できるようになった。この機会にSEハンドブックのご購入を検討頂ければ幸いです。

日本ノアーズ株式会社 持地慶人



賛助会員紹介

ソフィア横浜人事サポート

■自己紹介

ソフィア横浜人事サポートは、市営地下鉄センター北駅から徒歩1分の場所にある、職員数名のこじんまりした社労士法人です。私はそこで代表社員を務めている島本と申します。

2013年に神情協の事務局をご訪問した際に当時の事務局長の内藤様からお声掛けをいただき、その後賛助会員として主に労働福利委員会の活動に参加をさせていただいています。

社会保険労務士（社労士）というのは、ほかの士業に比べると、まだまだ知名度が低いのですが、労働福利委員会で何度かセミナーの講師も務めさせていただきましたので、神情協の中では少しは認知していただけるようになった・・・でしょうか？

■事務所の特徴/PR

就業規則作成、労務手続、給与計算など、一般的な社労士事務所の業務を幅広く手掛けています。比較的早期に手続きの電子化を進め、効率の良い業務遂行ができていますのではないかな、と思っています。

労務手続業務の分野では、大企業の電子申請義務化なども背景に、年々、使いやすいシステムができています。ソフィアとしては、今後はお客様の手続き業務の内製化支援に力を入れていく方針です。

電子化を進めたいけどどうしてよいかわからない、社内に専門知識をもった社員がいらないけど、できれば社内で業務を遂行したい、とお考えの会社様はご相談ください。私が、労務管理の基本として、一番力をいれている業務は就業規則の作成です。しばらくマンパワー不足で十分な対応ができずにはおりましたが、業務の効率化が進んだことで、これからはじっくりと取り組むことができそうです。

■2022年の重点課題

2022年は育児介護休業法の改正への対応と、ハラスメント防止対策の策定支援に力をいれて取り組みます。引き続き派遣の労使協定や派遣法改正への対応も支援いたします。

労務関連で課題を抱えていらっしゃる会社様は、お気軽にご連絡いただければ幸いです。

【連絡先】

〒224-0001

横浜市都筑区中川中央1-30-1プレミアヨコハマ3F

TEL：045-914-7210

E-Mail：shimamoto@sofia-sr.jp



新会員 INFORMATION

■正会員

富士通コワーコ株式会社

川崎市下小田中

代表 森下 健作

<https://www.fujitsu.com/jp/coworco/>

TEL 044-754-4133

業務 情報処理機器、通信機器及び事務機器並びにこれらに関する周辺機器、消耗品等の製造、販売

■正会員

Re・Favor株式会社

横浜市西区北幸

代表 渡辺 照男

<https://www.refavor.co.jp/corporate/>

TEL 045-577-0134

業務 ・IT事業（システムコンサルティング、システム開発、システム検証、システム運用保守 他）

・経営支援事業（企業再建・支援事業・起業協力・支援事業）

・介護タクシー事業

■正会員

株式会社PE-BANK

東京都港区高輪

代表 高田 幹也

<https://pe-bank.co.jp/>

TEL 03-3473-9877

業務 ITフリーランスへのサポート・

サービス及び共同受注

■正会員

アミエルジャパン株式会社

横浜市港北区新横浜

代表 留目 津

<https://keirimarugoto.com/>

TEL 045-477-2529

業務 経理代行・経理のキャッシュレス。ペーパーレス化とDX支援

■正会員

株式会社レリパ

東京都渋谷区富ヶ谷

代表 チャン・スワン・ドゥック

<https://relipasoft.com>

TEL 03-6804-9294

業務 webシステム・スマホアプリ開発

■賛助会員

株式会社ウィルパートナーズ

横浜市中区太田町

代表 辺見 香織

<https://willpartners.co.jp>

TEL 045-228-9078

業務 ・経営コンサルティング業（中小企業診断士、特定社会保険労務士）

・オウンドメディア企画運営（編集・ライティング）